

福井の稲作を『強い粒づくり』大粒&多収でつなぐ

多収米

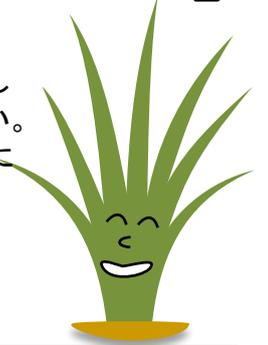
にじのきらめき速報

RAINBOW RICE

【No.6】

●中干し終了後は、間断通水の実施

6月中下旬にかけ、高温多照の日が続いた影響で稲の生育も活発となり、急激に茎数が増加しました。現在、中干し期間に入っており、10日～2週間を目安に幼穂形成期までに終了して下さい。中干し終了後は、間断通水を実施して根の老化や下葉枯れを防ぎましょう！また、今後の天候によりいもち病等の発生には注意が必要ですので、圃場を確認しましょう。



1.生育状況について(6月25日現在)

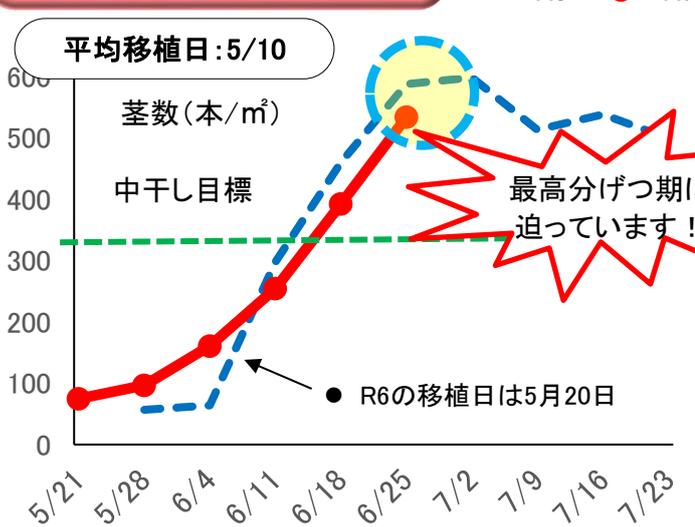
①JA全体

栽培区分	年度	移植日(平均)	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉色
移植	R7	5月10日	59.7	533.7	4.4
	R6	5月20日	48.6	587.6	4.0

②各地区の状況

栽培区分	地区	移植日(平均)	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉色
移植	福井	5/11	59.4	488.7	4.4
	坂井	5/10	55.2	600.3	4.5
	丹南	5/8	64.5	512.0	4.2

2.茎数の推移について



【前年比】

●草丈:長い ●茎数:少ない ●葉色:濃い



坂井地区管内の様子(6/25現在)

3.にじのきらめきの栽培ポイント

中干し・溝切りは、幼穂形成期直前(7月上旬)まで。圃場の状況に応じて実施。過剰な中干しは根を傷め、胴割粒、乳白粒の発生を助長します。

【生育の目安】

7/1 出穂30日前

8/1 出穂

中干し・溝切り

幼穂形成期

茎数・葉色
に注意!!

病害虫防除

- 梅雨入りしました。いもち病の発生に注意。
- 畦畔の草刈りでカメムシの発生抑制。

☆病害対策



いもち病

梅雨に入り天候不良の日が続きます。稲体を確認し、いもち病発生が見られたら至急、薬剤防除を実施しましょう。

○ブラシ粉剤(治療剤)

3~4kg/10a 使用回数:2回以内
使用時期:収穫7日前まで

県域多収米「にじのきらめき」のお問い合わせは、各地区担当営農指導員までお願いします。